



「いのち」と「へいわ」

こどもたちは、毎日様々な場面で「いのち」と出会っています。虫を見つければ、観察し手に取りどのよう
に接したら良いか体験しています。散歩先で見かける草花の違いや、花が咲いたり葉がしおれたりする
様に気付き「綺麗だね」「お水欲しいのかな」と伝え合い共感しています。幼児クラスの皆が育てているナ
スやピーマンがぐんぐん育ち、あっという間に実をつけ始めました。土からヒョコッと顔を出した双葉を、
絵本に描かれている双葉と見比べて観察していたのがほんの少し前のように感じます。毎日水をやり見守
り育てた野菜を収穫していただく時、子どもたちはどのように感じるのでしょうか。

お友達に対しては、けがをしたり具合が悪い時には「痛いね」「よしよし」「頑張って」と労ったり、園見
学に訪れた0歳児に「赤ちゃんだ…」とそっと覗き込んだりする姿が見られます。それらは子ども自身の
心から生まれる関心や行動です。その前段階で、自分の気持ちや出来事に対して周囲からどのように接し
てもらったか、よく見て感じ学習したことが大きく関わっています。「いのち」は脈々と受け継がれてきた
ものであり、また個々に唯一のものでもあります。周囲の環境や他者との関わり合いによって「いのち」が
紡がれていると思います。

6月末に、東駒形教会関係施設合同研修があり、平和と人権について学びました。子どもたちに平和を伝
える時、戦争や貧困などはわかりやすい事柄ですが、小さい子にとっては今の日常が脅かされることなく
大切な家族や友達と安心して暮らせることが平和であると感じました。人権が守られ、ありのままを愛さ
れ育つ子どもたちが大切な存在を通して「いのち」を意識するすることは、心に平和の種をまくことにな
ると思います。日々の生活で安心していられるとはどういうことか、そのような毎日をつくるために私たち
は何ができるのか、子どもたちと一緒に考えていきましょう。

園長 佐々木奈津絵

あなた方は神に愛されている子どもですから、神に倣う者となきなさい

(エフェソの信徒への手紙5章1節)

お知らせ

<7月の予定>

- 1日(水) 避難訓練
- 2日(木) 誕生会

7月下旬に小学生ボランティアを
受入れます。(1歳児以上のクラス)
よろしくお願いいたします。

・毎週水曜日は園庭開放で地域
の親子があそびに来ることがあり
ます。なお、7～9月は熱中症対
策のため、お休みすることがあり
ます。

・6月の高潮避難訓練では、小
さい子どもたちも一生懸命、階段を
のぼって、5階の学童クラブまで
避難しました。

つぼみ組
(0歳児)

公園であそぶの楽しいね♪

それぞれの生活リズムに合わせているつぼみ組ですが、先日全員で公園へあそびに行きました！以前は泣くことが多かったのですが、バギーに乗ることに慣れて「どこに行くのかな？」と楽しみにしている子どもたち。公園でもシートの上ではもう物足りないくらい😊Aさんはシャボン玉を見上げたり、シートからハイハイで出ていって、地面も気にしないで遊具へ向かいます。Bさんは大きな遊具にあっという間に登って、他の園の大きい子どもに興味を持って近くまで行っています。CさんとDさんは同じ遊具へ行き、同じ場所であそんでお互いに嬉しそうに笑っています。入園から3か月、身体も心も成長している子どもたちです！



さくら組
(1歳児)



ある日、Aさんがお人形遊びをしていると・・・赤ちゃん人形の洋服を自分で脱がし、はだかんぼうにしていました。お人形を見て「かわいそうね～」と、ぼそっと呟きます。脱がした洋服はどこに置くのかな？と見守っていると、なんとおままごとのお皿にそっと乗せて机の上に置いていました・・・(笑)

はだかんぼうのお人形に布団を掛けて、隣にいたBさんが（まるで心臓マッサージをするかのように）

両手で「よいしょ、よいしょ」とトントンして寝かしつけをしていました。

「あかちゃん、ないてる～」とAさんは声を掛け、今日も赤ちゃん人形のお世話に奮闘中☆です。

もも組
(1歳児)

最近、芝生広場に行くと階段に

向かい、階段の上り下りを楽しんでい

ます。手すりを持って登ったり、手すりを持ってみたものの難しくてハイハイで登ったり、子どもによって登り方は様々。また、下る時も手すりを持って前を向いて降りたり、カニのように横を向いて両手で手を持ってゆっくり慎重に降りる姿だったり、立って下るのは怖い、難しいと思ったのか前を向いて座って尻歩き！？一段ずつ足を降ろしてはお尻でストンと降りる（←こんな方法もあるんだ！と保育者の新しい発見！）など降り方も様々。子どもたちなりに自分にあった方法を編み出して楽しんでいる姿に、子どもってすごい！と改めて思います。

2歳児クラス
(たんぽぽ・すみれ)



『みず』って不思議だね～★



水あそびが気持ちの良い季節となりました。テラスで水あそびをしようと、みんなで出ていくと子どもたちがタライに入った水を興味深そうに覗いている場面がありました。指でチョンと触ると、冷たさを感じたり揺らいだりする様子をじ～っと眺めてAさんが「おみず つめたいよ！さわってごらん。」と傍にいるBさんに声をかけ、一緒に試している姿はまるで研究しているかのようでした。またある時は食紅を加えて色水を作り、色が変わっていることに「おみずのいろが ちがう～！」と驚く表情はとても新鮮でした。さらには、部屋にいたCさんが天井を見た時に「あっ！きらきらみえた。」と指をさしていたので保育者もその方向を見ると、タライに入った水に太陽の光が当たり反射して映っていて、そのキラキラに気づいたようでした。Cさんは、ゆらめきをうっとりとした表情で眺め、光を見る目もキラキラと輝いていました。『水』一つとっても、子どもたちには不思議で特別なものであると感じた瞬間でした！水あそびをして気持ちよく過ごしなが、子どもたちの飽くなき探求心に寄り添って行きたいと思います。

みんなでよるまでほいくえん

～言霊（ことだま）ってあるよね～

先月の園だよりでもお伝えしていた、ゆり組の「みんなでよるまでほいくえん」を無事に行うことができました。6/26（金）に向けて、様々な準備を子どもたちとしてきました。夜の食事のメニューを決めたり、お風呂に入る時に入れる入浴剤を一緒に買いに行ったり、夜のデザートของゼリーを何味にするかグループで決めたり…。順調に準備が進む中で一つ不安なことがありました。6/26が雨という予報だったのです。雨の中での遠足も覚悟していましたが、ある友だちが「ことだまってあるから、晴れにできるよ。わたしが晴れにしてあげる！」と教えてくれました。私たち一人一人が願いを込めて言葉にすることで、そこには魂が宿る。みんなで「きっと晴れるね。」と言っていると、なんと次の日、雨予報が一部曇り予報に変わったのです。「言霊ってあるよね！」気持ちの準備もこの言葉で万全になりました。



電車にみんなで乗ったよ！

東武スカイツリーラインにみんなで乗ることが今回の目的の一つでもありました。鉄道好きな子どもたちはもちろん、みんなホームでの待ち時間も楽しんでおり、なんとスペースXの車両も見ることができました。電車に乗り座席に座ると、嬉しそうに車窓を眺め、「次は〇〇駅だね」と一駅進むごとに友だちと確認していたゆり組さんです。

ギャラクシティにて

ギャラクシティでは、空気砲の実験を一人ずつ体験したり、スペースアスレチックという、ロープで作られた3階建てのアスレチックで走ったり登ったり滑ったり、なかなか動けない大人を横目に網の上を自由自在に動き回り、楽しんでいた子どもたちです。立てない大人に優しく手を差し伸べてくれる姿も見られました。



お弁当、おいしかったあ！

「お弁当はまだ？」ギャラクシティに着いた時からそのような声が、ちらほら。朝からリュックを開けるたびに「お弁当の匂いだ」「もうお腹すいちゃったよ」「〇〇がはいってるんだよ。後で見せてあげる！」などの声も聞かれました。そして、ついに心待ちにしていたその時が！お家の人が作ってくれたお弁当を、おいしそうに幸せそうに食べていた子どもたちです。

プラネタリウム☆

お腹がいっぱいになった後には、プラネタリウムが待っていました。真っ暗になり星が現れると、「おおおお！」と歓声があがりました。一番星の紹介から始まり、月が目の前で近づいてきたり、また、夏の夜空に見つけられる星を教えてもらいました。ナレーターの質問に、「してる！」と、とても良い反応で答えてくれていたゆり組さんです。





都内に3台しかないバス

ギャラクシティからの帰りは、都営の貸し切り観光バスに乗りました。都内に3台しかないという貴重なバス。子どもたちのテンションも上がります。バスに乗ると心地良くて、保育園までしばしの休息タイムとなりました。

スイカを食べてゼリーを作る

保育園に戻るとおやつタイム。大きなスイカをひと玉、みんなの目の前で栄養士が切り分けてくれました。スイカが苦手だという友だちも「今日はちょっと食べてみようかな」と、挑戦していました。ひんやりしておいしいスイカを食べた後は、ゼリー作り！グループごとに、ボールにお湯と自分たちで決めた味のゼリー粉を入れてかき混ぜていました。甘い匂いにデザートのお楽しみも膨らんでいました。



♪その湯に入ろう！

番頭さんに扮した主任が、ゆり組に「その湯」の説明をしに来てくれました。「～べからず」といういくつかのルールを伝えられ、いざ「その湯」へ！みんなで購入した入浴剤を入れると、お湯の色がきれいな黄色に！「あったかーい」と言いながら、みんなの表情もお湯の気持ち良さに和らぐ様子が見られました。上がる時間になっても、「まだ出たくない！」という声が続出していました。

保育園で夕食を♪

お風呂の後はお待ちかねの夕食！カレーライスに、レンコンサラダ、玉ねぎたっぷりコーンスープ。そしてデザートはみんなで作ったソーダ味とイチゴ味のゼリー！それぞれのグループで作ったゼリーをボールから自分たちで取り分けます。スプーンや皿を誰が取りに行くのか、ボールからどうやって分けるかも自分たちで決めてもらいました。ケーキのように分けるグループや「全部じゃなくておかわりが皆でできるようにしよう」と言っているグループがあり、ゼリーを分けて食べる中にも子どもたちのそれぞれの考えや気持ちがあることを感じました



夜の保育園探検&おたのしみ

本当は横川公園に星を見に行く予定でしたが、あいにくの雨。そのため、保育園の中を探検しました。真っ暗な保育園は初めての子どもたち。懐中電灯を持って新事務室やいつもは通らない2階の秘密の通路を探検しました。「全然大丈夫！」「ちょっと怖いよ」等子どもたちの様々な声が聞かれましたが、どうにかみんなで無事に部屋に到着！最後は置き型花火のサプライズに大興奮の子どもたちでした。

長い一日となりましたが、様々な体験を通しての「楽しかった！」という子どもたちの言霊を、今後の自信や意欲へと繋げていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組
(3歳児)

“泥んこあそび”はじめました！

梅雨の合間の晴れた日に、泥んこあそびをしました。朝から「きょうはどろんこのおようふくできたよ！」「ねえ、いつどろんこあそびしにいくの？」と、泥んこあそびを楽しみにする姿がありました。タライに水を入れるとその中に泥を入れ、「チョコレートみたいね～」「おいしそうだねえ」と友だちと会話をしながら手で混ぜ混ぜ…次第に顔や洋服に泥が跳ね、泥まみれになり「みて～」と泥で汚れた“勲章”を見せてくれました。ホースで温水を雨のように降らすと「キャー」と言いつつも“かけて～」と寄ってくる子どもたちの全身はずぶ濡れに！風が吹くと少しひんやりして「さむい…」との事。保育者が「温かい泥を足にかけたら温まるんじゃない？」と提案し泥をかけていると、それを見ていた子どもたちが、子どもたち同士で掛け合いっこをしては「あったかいー！」と太陽で温まった泥の温もりを肌で感じていました。

泥んこの感触、温度、風の冷たさ等、五感を目一杯使って泥んこあそびを楽しみました！

★宝箱☆

園庭で“蚊柱”を発見した子どもたち。「あれはなんだろう？」とAさんがいうと、Bさんが「魔法のキラキラじゃない？」と返答…なんて素敵な発想なのでしょうか。✧°

ばら組
(4歳児)

5月号続報 当番始めてみました★

5月号にお伝えした雑巾掛けに続き、ほうきやゴザにも興味を持ったばら組。早いもの順で行っていましたが、早くほうきを確保したい思いから食事の片付けを忘れちゃう！やりたいのに、ほうきや雑巾が足りない！ゴザをするために早々に並んでいると、雑巾の人に邪魔って言われちゃう！！などの問題や不満がたくさん。現状や不満を持っている子どもの思いを共有し、今後の相談をみんなで行いました。そこで出たのはまさかの『譲ってあげる』という精神論。もしかすると「やさしさに包まれたなら」円満に進むのではないかと私たちも期待していたのですが、やさしさに包まれることなく、毎日ケンカ・・・(笑) 1、2週間を経て、子どもたちに譲ってあげる作戦はうまくいっているか尋ねると不満爆発！改めてどうすれば良いかをみんなで話し合いました。すると、「少しの人数でやればいい」というある子の意見をきっかけに「何人かで順番ですれば良い」という当番ですることになりました。当番の人数もほうきが4本だから4人ずつ、というこだわりも。順番は散歩の列の順番で行うことに決まり、5月の中旬から始動しました。大人が整頓して、うまく回るように誘導することは簡単ですが、子どもたちと回り道をして、その紆余曲折な感じも楽しみの一つです。困りごとが出てきたとしても、子どもたちを信じて一つずつ乗り越えたいです。



汗をかく季節になりました。この時期に保湿剤は使わないほうがいいと思いがちですが……エアコンの効いたお部屋ではお肌が乾燥しています。乾いた肌はバリア機能が弱くなり、汗の刺激で赤みやかゆみが出やすくなります。さらに肌を掻いてしまうと、小さな傷口からばい菌が入ってとびひにつながることもあります。そこで

あせもを予防したり、早くよくするためのポイント2つ！

1. 汗を洗い流して、肌を清潔にすること
2. そのあと保湿すること



子どもは汗をかきやすい上に乾燥もしやすいので、2つのポイントで健康な肌を保ちましょう。



暑さに負けない体づくり



暑い日が続くと、食欲が落ちたり、疲れやすくなったりします。早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、しっかり食べて元気に夏を過ごしましょう！昼食でもトマト、オクラ、茄子等の夏野菜を取り入れていきます。

トマト

赤い色のもとになる

「リコピン」が体の調子を
整え、暑い夏を元気に過ごす
手伝いをしてくれます。
昼食のトマトサラダに使用
しています。

オクラ

食物繊維やカルシウムが
多く、ネバネバは「ペクチン」
でお腹の調子を整える働きが
あります。昼食の煮麺汁に使用
しています。

なす

カリウムや食物繊維
含み、水分たっぷり。
夏の体をやさしくサポ
ートしてくれます。
昼食の夏野菜カレーに
使用しています。

☆お知らせ

- ・実習生が入ります。

7月13日（月）～17日（金）

東京慈恵会医科大学 1名

- ・本所中学校の生徒5名が職場体験で

7月1日（水）～3日（金）に来て

くれました。

7月31日（金）～8月15日（土）

玉川大学 1名

おひさまぶんこ

新年度におひさま文庫に並べる新しい本を選んでいたら、一冊の絵本に釘付けになりました。

「ゆびでたどる進化のえほん」 KADOKAWA

監修・文 / 三上智之 絵 / かわさきしゅんいち

約40億年前の最初の生命誕生から人間が誕生していくまでの生命の進化の分岐を指でたどってゆくのです。

生命の進んできた道を指でたどりながら、はるか昔に絶滅した生物の行き止まりにせつなくなったり、「あら、あなたはこんな時代から生き続けてくれていたのね」と感動したり、

生命のめいろをたどっていると人間の誕生なんてほんのつい最近の出来事。

「ああ、生命ってすばらしい」

と、うっとりしながら繰り返して読みました。

何かを知りたいと思って広げる科学絵本は、広げる度に発見があり、知識と理解力が深まると更に見えてくる世界があり、そこから枝分かれをして、

「この分野のここについてもっと知りたい!!」

と、知的好奇心がくすぐられていきます。

最近ではネットで答えがすぐ見つかり便利ですが、答えに至るまでの発見や気づきはほとんどありません。最短距離で答えを見つけるのではなく、理解し納得できたか、次の疑問が湧いてきたか、本来はそこが大切だと思います。

2026.5.30 朝日新聞「博物館 未来への投資」真鍋真

→ 今年4月から国立科学博物館の新しい館長に就任した恐竜博士の真鍋真(まなべまこと)先生の記事にあった一文です。

おひさま文庫にあなただけの「知りたい」を見つけにぜひいらしてください。

K.Tarumoto

